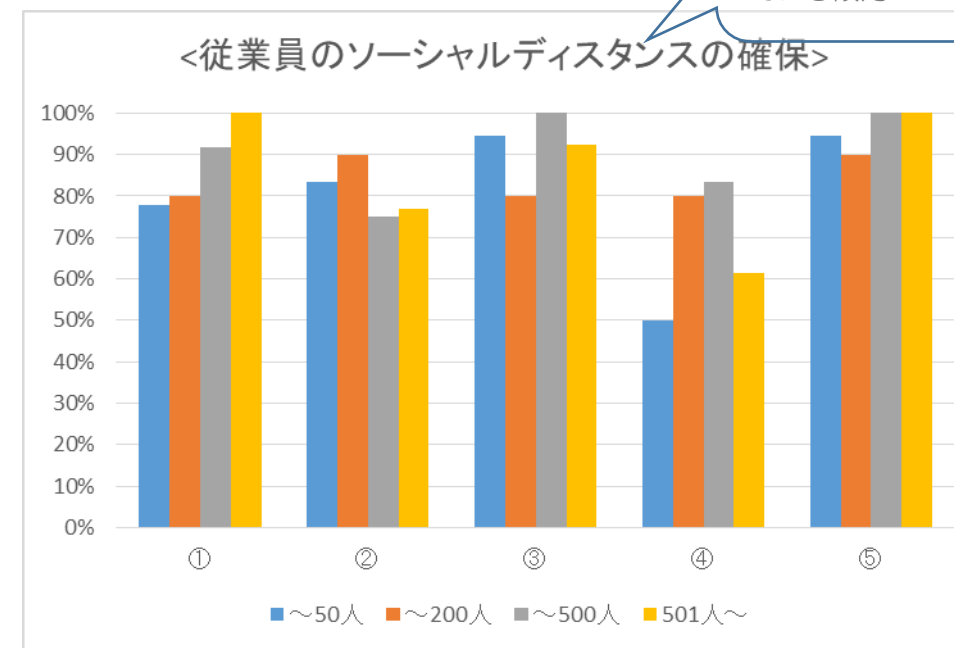
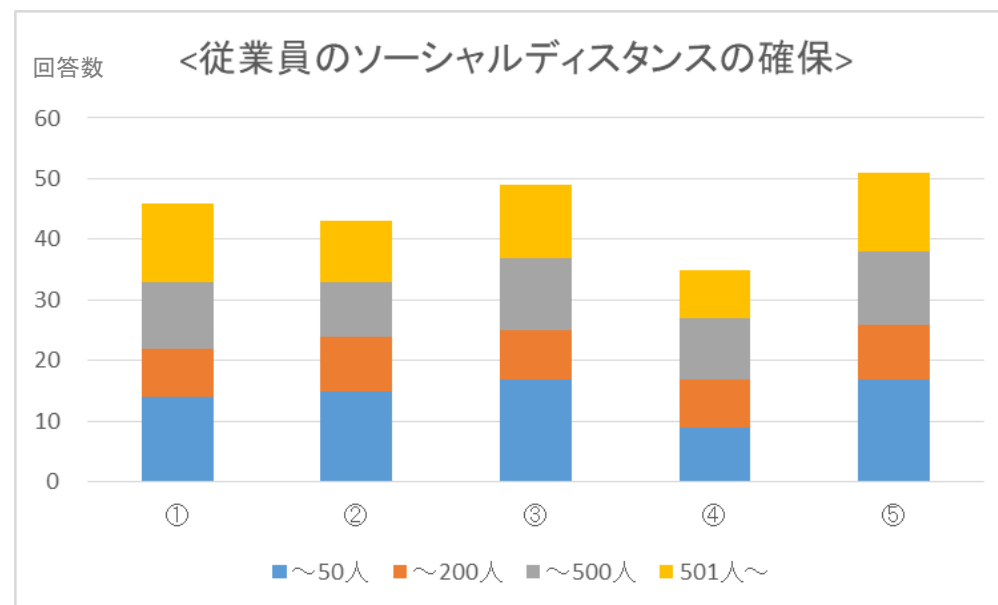


* 高圧ガス製造事象所における新型コロナウイルス感染症対策について *

2021年3月に実施した高圧ガス保安法に基づく立入検査に代わるアンケート調査（2020年中に稼働実績のある53事業所を対象）の回答状況をまとめました。

| 新型コロナウイルス感染症対策について【設問2】 | |
|--|---|
| <従業員のソーシャルディスタンスの確保> | 具体的な取り組みほか |
| <p>① <input type="checkbox"/> 時差出勤・テレワークの実施等、通勤頻度の低減</p> <p>② <input type="checkbox"/> 自家用車による通勤の承認</p> <p>③ <input type="checkbox"/> アクリル板等設置による各席や対面する場所の遮蔽</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 勤務時間や休憩時間をずらす等の工夫</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 社内・社外ミーティング等の実施方法の見直し・オンライン化</p> | <p>○通勤頻度の低減・通勤方法の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務部門、管理部門の出社率を下げる ・公共交通機関利用 40%以下 ・通勤はマイカー、バイク、自転車、徒歩 ・出張者用宿泊施設の利用 <p>○休憩時間をずらす等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務所の分散化 ・食堂の時差利用・予約制・人数制限 ・食事中の会話禁止 ・更衣室・休憩所・喫煙場所の分散（交代班をチームで分ける・従業員と出入り業者で分ける） <p>○会議・打ち合わせ・保安教育・各種社内行事のオンライン化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Teams・ZOOM等の活用 ・自宅からの参加を認めた。 |

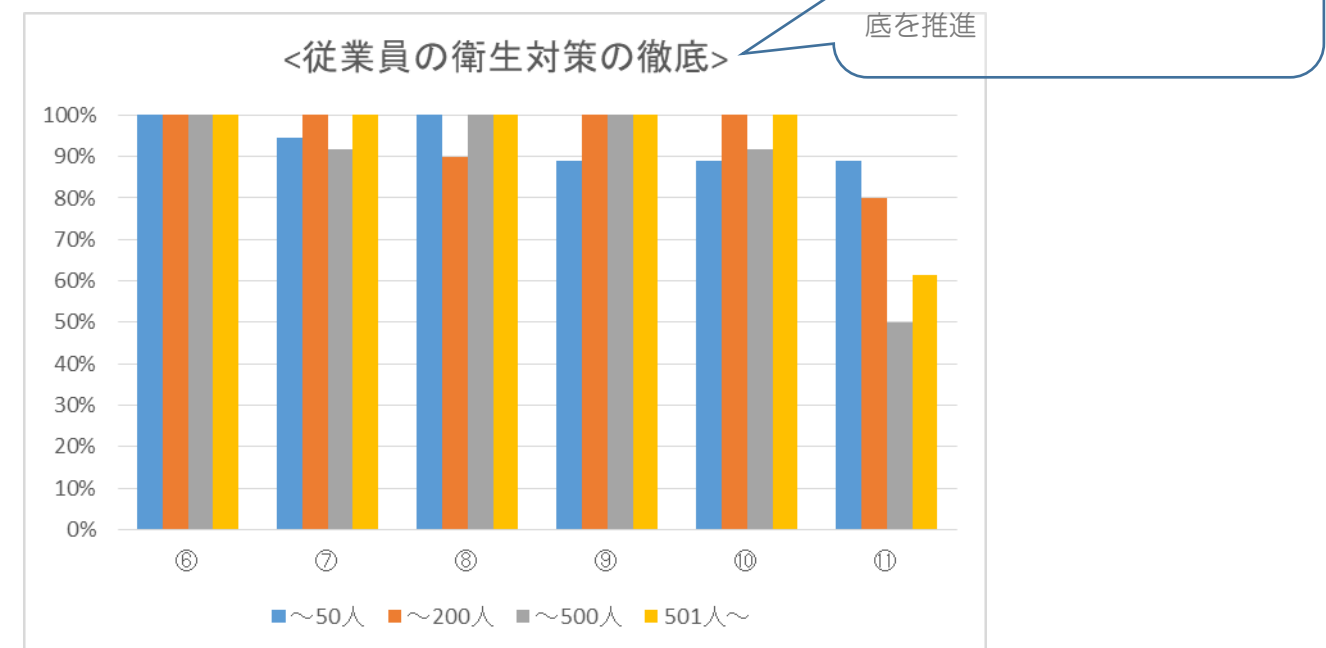
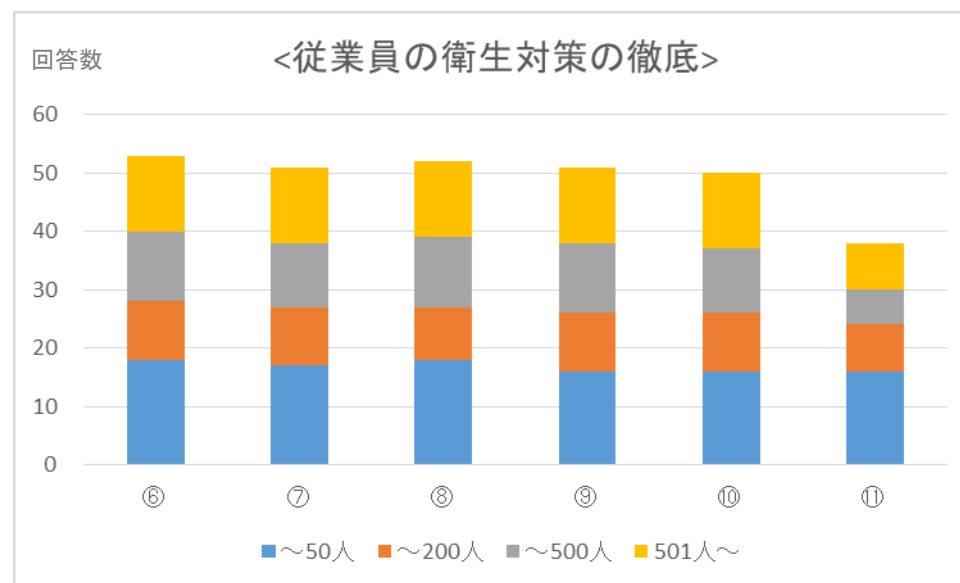
【従業員規模に応じた各項目の実施状況】



在宅勤務や時差出勤などは従業員数が多い事業所がより対策を進めている傾向

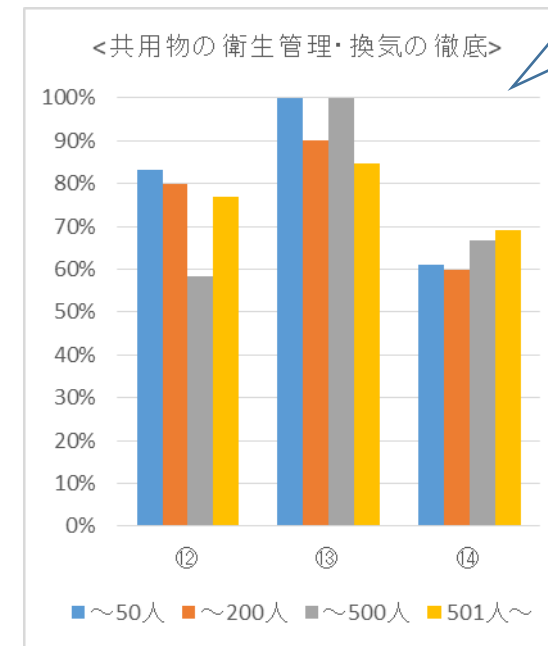
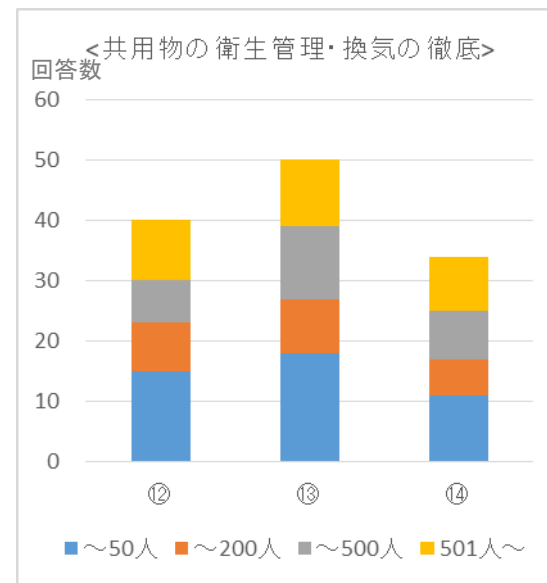
| | |
|--|---|
| <従業員の衛生対策の徹底> | 具体的な取り組みほか |
| ⑥ <input type="checkbox"/> 事業所内でのマスクの着用 ⑦ <input type="checkbox"/> 定期的な手洗い・手指消毒 ⑧ <input type="checkbox"/> 従業員の検温実施・体調管理 ⑨ <input type="checkbox"/> 従業員の発熱等の症状がある場合の各種休暇取得奨励 ⑩ <input type="checkbox"/> 協力会社等の関係者にも従業員に準じた感染防止対策を要請 ⑪ <input type="checkbox"/> 予防啓発ポスター掲示 | <ul style="list-style-type: none"> ・常駐協力会社：出社前の検温 ・臨時入場者：サーモカメラによる一次体温測定による監視等 ・緊急対策宣言中は、事業所内の緊急体制を発動 ・社内電子掲示板で行動・対応指針の周知 |

【従業員規模に応じた各項目の実施状況】



| | |
|---|--|
| <p><共用物の衛生管理・換気の徹底></p> | <p>具体的な取り組みほか</p> |
| <p>⑫ <input type="checkbox"/> 計器室等利用設備・機材の定期的な消毒</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 換気設備または扉・窓の開閉による換気</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 加湿器等による加湿</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・各職場で、手で触れる部分の定期的な消毒実施 ・計器室への入室制限 |

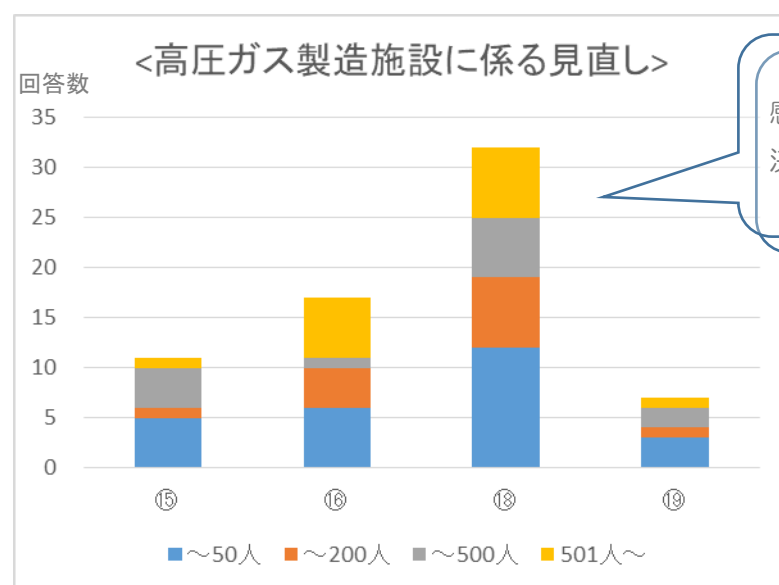
【従業員規模に応じた各項目の実施状況】



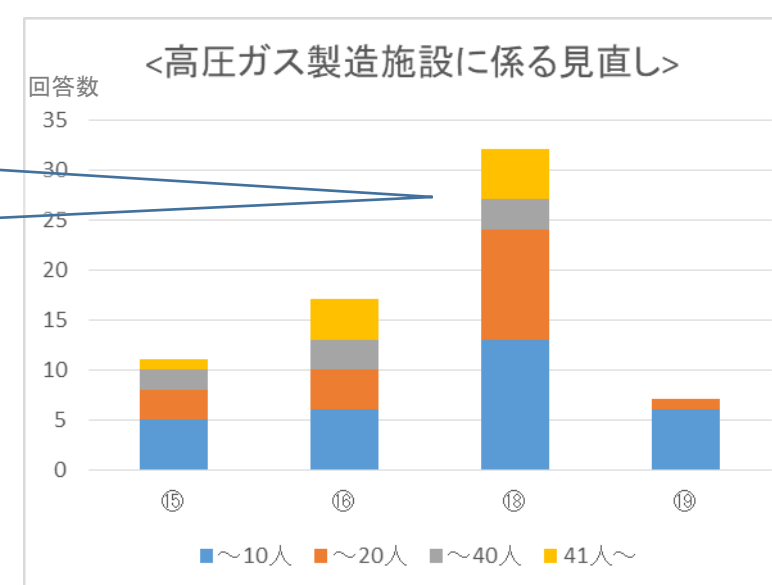
ひとりひとりの衛生対策に比べると環境への対策は少し下がる

| ＜高圧ガス製造施設に係る見直し＞ | 具体的な取り組みほか |
|---|--|
| <p>⑮ <input type="checkbox"/> 勤務体制・点検体制の見直し</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 勤務交代時の引継ぎの見直し</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 点検方法の見直し</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 保安に必要な要員が感染した場合の対応方針等の策定等</p> <p>⑲ <input type="checkbox"/> 欠勤者や感染者が出た場合に備えて、他部署との応援体制の検討</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> その他</p> <p>※⑰については該当なし</p> | <p>○勤務交代時の引継ぎは少人数・短時間・場所の分散・遮蔽など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポジション毎に分室に分かれる。 ・申し送り簿確認による引継ぎ（不明点のみ口頭での説明） ・WEB会議システムを使用 ・引継ぎに参加する管理者の限定 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原料設備の受け入れ、払い出し担当グループで感染者が発生した場合でも他グループで対応出来るよう教育を実施した。 ・一つの作業に対して複数人ができるようにするための環境を作り、実践 ・原料受け入れ設備は、作業員とローリー運転者との控室を別に設け、冷暖房を取付けた。 <p>⑮勤務体制・点検体制の見直し（見直しは2020年4月～12月の間に実施）【設問3】</p> <p>○製造・運転部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要員の感染リスク低減し、運転員補充対応を出来るように在宅勤務と時差出勤（日勤者） ・製造部門の体制 3名1班3交代→3名1班2交代、4班3交代から4班2交代（緊急事態宣言中） <p>○環境安全・保全部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅勤務・時差出勤・休日出勤 ・時差出勤を強化するため、コアタイム時間を短縮 ・出社率目安50%・計画的な勤務分散化 |

【従業員規模に応じた各項目の実施状況】

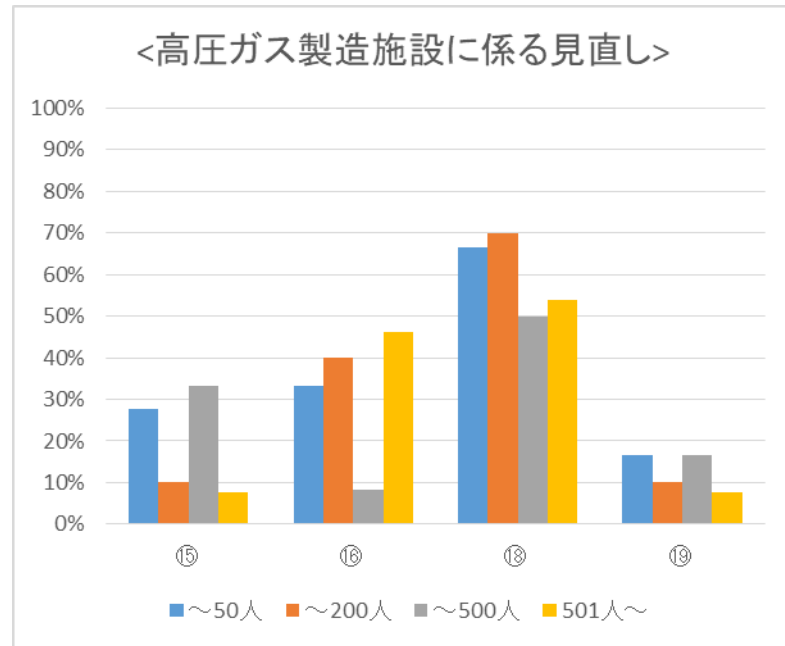


【保安係員数に応じた実施状況】

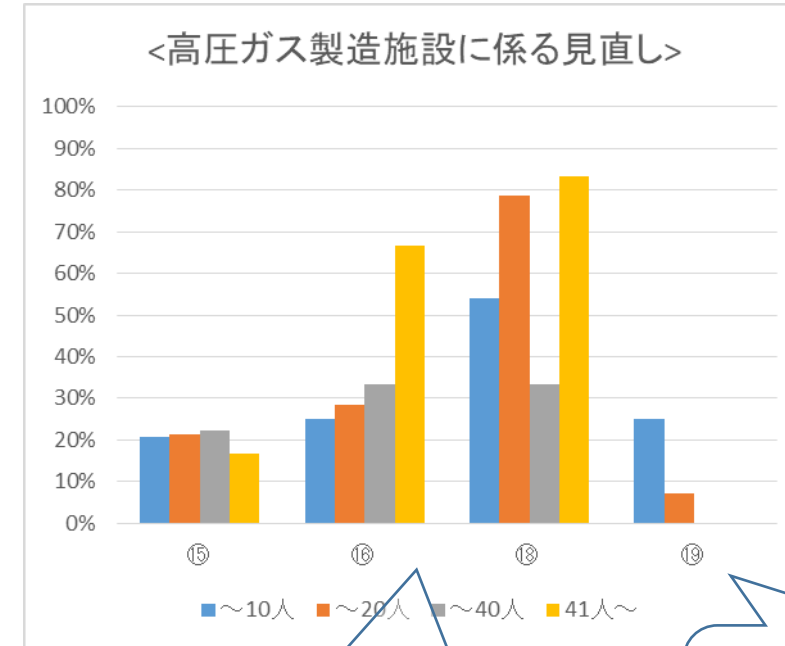


感染した場合の対応方針を事前に決めておくことの重要性

【従業員規模に応じた各項目の実施状況】



【保安係員数に応じた実施状況】



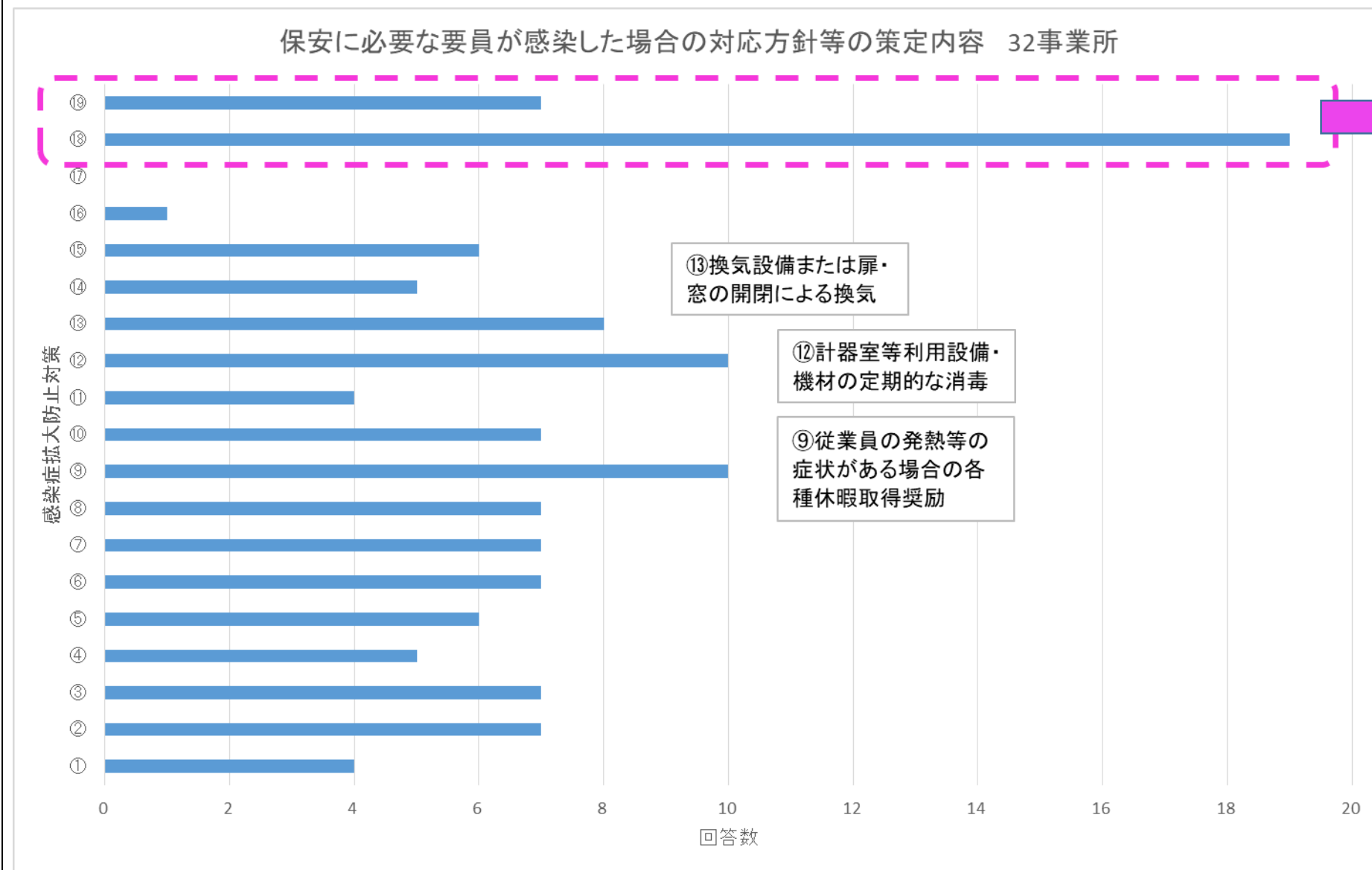
保安係員数＝関係者が多いからこそ、交代時の引継ぎの見直しが進んだか。

保安係員数が少ないからこそ、要員が感染した際に備えて応援体制の検討を進めているか。

保安に必要な要員が感染した場合の対応方針等の策定内容について【設問4】

実施状況 <32事業所から回答：60%>

具体的な内容



- 感染者が出た場合の保安体制の維持のための取り決め
 - ・時間外勤務による対応
 - ・交代勤務のローテーション組み直し・再編成
 - ・交替勤務の体制を4班2交替から3班2交替へ変更
 - ・1班2名体制として生産量をダウンして生産活動を行う予定
 - ・保安要員の班外への応援・他部署からの生産応援（経験者優先）
 - ・保安係員の正及び副の両名が、欠員になった場合は、補充（前直または、休日者）による対応
- 感染拡大時のプラントの運転制限・停止判断基準の設定
 - ・欠員数・停止する装置の優先順位
 - ・停止措置後の監視体制（最低人数）
- 感染者が出た場合の対応・行動規範・復帰までの取り決め
 - ・出社禁止措置・従業員の状態（症状の有無や勤務の可否）に応じた就業の取り扱い
 - ・班員が感染した場合、その班は濃厚接触者とし出勤停止
 - ・濃厚接触者のPCR検査実施（近隣クリニックと提携）
 - ・感染者の行動範囲の消毒及び除菌を実施
 - ・簡易検査キットの配布・活用
- その他
 - ・部署別の管理体制
 - ・感染状況の大小の想定
 - ・感染症対策として、事業継続計画(BCP)を策定
 - ・入門管理要領の見直し

高圧ガスの製造の現場では、保安要員を確保できなければ、製造をストップせざるを得ないことを念頭に、感染しない・させないこととあわせて、感染者がでてから慌てないよう、事前の準備も重要になると多くの事業者の方が考えられている結果です。すでに取組んでいる事業者の方もまだこれからの方も、お示しした取組内容を参考に、まだまだ続く新型コロナウイルス感染症へ備えていただければ幸いです。